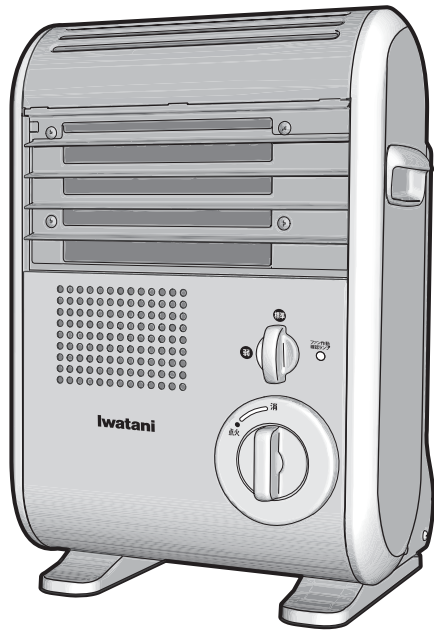
Iwatani

家庭用

イワタニ カセットガスファンヒーター

取扱説明書 CB-FH-1 屋内専用

＜保証書付＞裏表紙に付いています

1時間に1～2回（1～2分）換気する
室内で換気せずに使用を続けると一酸化炭素中毒により死亡事故に至るおそれがあります。

このたびは、お買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本商品は一般家庭でご使用いただく屋内用カセットガスファンヒーターです。
お使いになる前に必ずこの取扱説明書をお読みになり、正しくお使いください。
お読みになったあとは、ご使用になる方がいつでも取り出せる場所に、大切に保管してください。
裏表紙の保証書は、「お買い上げ日、製造番号、販売店名」などの記入をお確かめください。

安全のために必ずお守りください

お使いになる方や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

誤った取り扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の区分で説明しています。

区分	内容
⚠危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

本文中のマークは、次の意味を表します。

マーク	意味
	このマークは、してはいけない「禁止」を表しています。
	このマークは、必ず実行していただく「指示」を表しています。
⚠	このマークは、「危険」、「警告」、「注意」を促す内容を表しています。

火災予防、ガス事故防止のために

⚠危険

ガス漏れ時使用禁止

ガスが漏れるとガスの臭い(腐った玉ねぎのような臭い)がします。ブタンガスは空気より重く下部にたまりますので、電気製品のスイッチを入れたり、火気を使用しないでください。
炎や火花で引火し、爆発事故を起こすことがあります。
ガス漏れに気づいたときは、すぐに次の処置を行なってください。
①直ちに火を止める(器具せんつまみを「消」の位置にする)
②容器(ボンベ)をはずす
③窓や戸を開け漏れたガスを外へ出す(換気扇は使用しないでください)

必ず行う

禁止

火気禁止

⚠警告

使用中は換気をする

換気必要

換気せずに使用を続けないでください。酸素が不足すると不完全燃焼し、一酸化炭素などが発生して中毒死するおそれがあります。また、乳幼児や呼吸器疾患などの方は、体調不良になるおそれがあります。
換気は、換気扇を使用したり、窓や戸などを2カ所以上開けると効率良く行えます。窓の凍結、地下室など換気が十分に行えない場所では使用しないでください。

火災注意

カーテン、紙類、布類など燃えやすい物のそばなどでは使用しないでください。
火災の原因になります。

注意

異常・緊急時の処置

点火しないときや、ご使用中に異常な臭い、音、炎の色など異常や故障と思われるときや地震、火災などの緊急時には直ちに使用を中止し、容器(ボンベ)をはずしてください。
異常燃焼や予想しない事故の原因になります。
異常を感じたときは11ページの「故障・異常の見分けかたと処置のしかた」に従い処置を行なってください。
処置を行なっても直らないときは、使用を中止し、14ページの「保証とアフターサービス」に記載されている連絡先にご相談ください。

禁止

温風に直接あたらない

温風に直接長時間あたらないでください。特にお子様や、病気の方などがご使用のときは十分に注意してください。
低温やけどや脱水症状になるおそれがあります。

禁止

スプレー缶厳禁

予備の容器(ボンベ)やスプレー缶などを温風のあたるところに放置しないでください。
熱で缶の圧力が上がり、爆発し、危険です。

禁止

可燃性ガス使用厳禁

ファンヒーターを使用している部屋で可燃性ガスが発生するもの(ベンジン・シンナー)、スプレーを使用しないでください。
引火して火災のおそれがあります。

禁止

天面排気口や温風吹出口をふさがない

天面排気口の上に物を置いたり、温風吹出口・空気取入口に紙・布・異物を入れたり、ふさがないでください。
異常燃焼や火災の原因になります。
また、温風温度が高くなり床やじゅうたんなどの変色やひび割れの原因になります。

禁止

安全のために必ずお守りください

⚠警告

周囲の防災措置
必ず行う

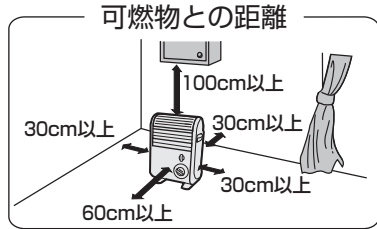
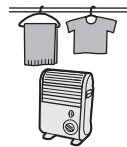
機器と可燃物（家具や壁・棚など）とは下図に示す距離を確保して設置してください。
十分な距離を確保しないと火災や機器の過熱により火災のおそれがあります。

狭い場所では使用しない
禁止

テント内や車内など狭い場所では絶対に使用しないでください。
酸欠による窒息死や一酸化炭素中毒死の原因になります。
また、周囲の可燃物に引火して火災のおそれがあります。

子供やペットだけの場所で使用しない
禁止

お子様やペットだけでの場所で使用したり、幼児の手の届くところでは使用しないでください。
また、幼児やお子様がいらっしゃる場合は、市販のガードで囲うなどして、防護処置をとってください。
やけど・けがの原因になります。

使用後は容器（ボンベ）を取りはずす
使用後は火災防止、ガス事故防止のため容器（ボンベ）を必ずファンヒーターから取り出し、キャップをはめて保管してください。

衣類の乾燥厳禁
衣類などの乾燥には使用しないでください。
衣類が落下して火がつき、火災の原因になります。

一度で点火しなかった場合は注意
注意

一度の点火動作で着火せず、再点火の際は、ガスの臭いがなくなったことを確認してから行なってください。
たまったガスに引火することがあります。

落下物の危険がある場所は避ける
棚の下など、落下物のおそれのあるところでは使用しないでください。
落下により火災や機器の故障のおそれがあります。

分解修理・改造の禁止
分解禁止

故障・破損したら、使用しないでください。また、お客様自身による分解・修理・改造はしないでください。
不完全な修理や改造は危険です。

使用中の外出・就寝厳禁
禁止

火を点けたまま外出したり、就寝しないでください。そばを離れるときは、消火してください。
予想しない事故が発生するおそれがあります。

水などの液体をかけない
禁止

ファンヒーターに水やコーヒー、ジュースなどの液体をかけないでください。
水などの液体が本体内部に流れ込むと、故障・やけどの原因になります。
液体をかけてしまったときは使用を中止し、お買い上げの販売店、または当社お客様相談室にご相談ください。

⚠注意

本体内に指や異物を入れない
温風吹出口や天面排気口・空気取入口に指や可燃物、針金などの異物を入れないでください。
ファンが高速で回転しているのでけがややけどを負ったり、火災の原因になります。

スプレーや化学薬品を使用する場所で使わない
フロンガスや塩素系溶剤は腐食性ガスの発生により金属が錆びたり、健康を害したり、また機器の故障の原因になります。

燃えやすいものを下に敷かない
禁止

ファンヒーターの下に燃えやすいものや熱に弱いもの（ビニールクロス、ダンボール、新聞紙など）を敷いたり、通気の妨げになるものを置かないでください。
火災の原因になります。

ほこりの除去
空気取入口は週に１回以上必ず掃除してください。
ごみ、ほこりなどが付着すると異常燃焼のおそれがあります。

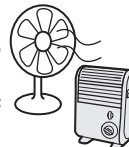
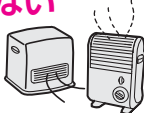
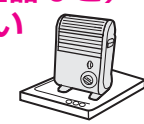
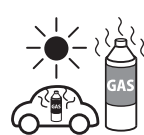
保管時にしていただくこと
長期間使用しないときや、保管するときは、必ず容器（ボンベ）を取りはずし、傾けたり横倒しの状態では保管しないでください。
思わぬ事故になるおそれがあります。

移動・運搬するときの注意
ファンヒーターを移動するときは、火を消して容器（ボンベ）を取りはずし、取っ手を持って運んでください。
火災ややけどの原因になります。

高温部接触禁止
燃焼中や消火直後は温風吹出口、天面排気口や周辺は熱くなりますので手など触れないでください。
やけどのおそれがあります。

やけどに注意
天面排気口には絶対に手など触れないでください。
やけどのおそれがあります。
- ○点火後ファンが作動するまでの約50秒間は天面排気口が高温になります。
- ○万一ファンが故障し、点火しているのに温風が出ないときには、天面排気口が高温になります。

点火・消火の確認
使用時の点火、使用後の消火を確認してください。
火災のおそれがあります。

廃棄するとき
ファンヒーターを廃棄処分するときは、必ず容器（ボンベ）を取りはずしてください。
容器（ボンベ）が入ったまま廃棄すると、思わぬ事故になるおそれがあります。

安全のために必ずお守りください

次のような使いかたは容器(ボンベ)が過熱するおそれがありますので絶対にしないでください。

⚠警告

2台以上並べて使用しない
2台以上並べての使用は絶対にしないでください。
本体内に熱がこもり、容器(ボンベ)が過熱して爆発や火災の原因になります。

強い風のあるところでは使用しない
強い風があたるところで使用すると火が消え、事故や本体焼損の原因になります。
また、異常燃焼で炎が大きく出たりすることがあります。

容器(ボンベ)が過熱する場所では使用しない
火気や直射日光のあたるサンルームや窓際など容器(ボンベ)が過熱するような場所では使用しないでください。
容器(ボンベ)が過熱して爆発や火災の原因になります。

送風機器(扇風機、エアコンなど)の風のあたるところでは使用しない
風があたると炎が立ち上がり火災ややけど、本体焼損の原因になります。
風があたるような使いかたはしないでください。

他の暖房器具と近づけて使用しない
他の暖房器具(石油ファンヒーター、電気ヒーターなど)の熱が容器(ボンベ)に伝わり爆発や火災の原因になります。

ファンヒーターを囲ったり、前面や上面を覆わない
引火による火災やファンヒーターの焼損、過熱による爆発のおそれがあります。

他の熱源(電気こんろ、電磁調理器など)の上や近くで使用や保管をしない
間違って電源等が入ると容器(ボンベ)が過熱され爆発や火災の原因になります。

ホットカーペットなどの上に置かない
床面があたたかくなるものの上に置かないでください。
容器(ボンベ)が過熱して爆発するおそれがあります。

容器(ボンベ)の取り扱いと保管について

⚠警告

火気や直射日光を避ける
容器(ボンベ)は火気や直射日光(室内や車内の窓際なども含む)を避けて、容器キャップをはめて風通しがよく湿気の少ない、40℃以下の場所で保管してください。また使用後は容器(ボンベ)を本体から取りはずして保管してください。

完全に使い切ってから廃棄する
①容器(ボンベ)を振ってサラサラと音がするときは、まだガスが残っています。必ず使い切ってから廃棄してください。
②容器(ボンベ)は必ず使い切ってから各自治体の指示に従って分別廃棄してください。
容器(ボンベ)にガスが残っていると清掃車の火災などのおそれがあります。

熱気のあたる場所に放置しない
容器(ボンベ)は暖房器具やオーブントースターなどの熱気を発生させる器具の周囲や、熱気のあたる場所には放置しないでください。
熱で容器(ボンベ)の圧力が上がり、爆発し、危険です。

容器(ボンベ)を火の中に投じない
容器(ボンベ)は火中に投じないでください。
火中に投入すると爆発し、危険です。

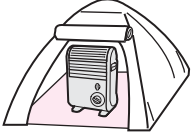
⚠注意

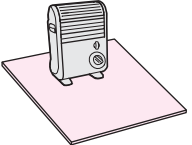
専用容器(ボンベ)を使用する
容器(ボンベ)はイワタニカセットガスと表示のある専用容器(ボンベ)を必ず使用してください。
他の容器(ボンベ)を使用するとガスが漏れたり、正常な使用ができない場合があります。

変形のある容器(ボンベ)は使用しない
ガス漏れの原因になります。

容器(ボンベ)は、錆びのないことを確認して製造日(缶底に西暦年月日で印字)から6～7年を目安に使い切ってください

ガスを故意に吸引しない
容器(ボンベ)のガスを故意に吸引しないでください。
酸欠により窒息死の原因になります。

落下のおそれのある場所で保管しない
容器(ボンベ)に強い衝撃を与えないでください。
破損やガス漏れによる引火のおそれがあります。

お願い

○容器(ボンベ)に表示されている注意事項を必ずお読みください。
○使用時は容器キャップをはずし、保管のときは容器キャップを押し込んで装着してください。

設置場所

次のような場所ではやけどや火災、予想しない事故の原因になりますので使用しないでください。

⚠警告

狭い場所や換気の悪い場所
テント内や車内、トイレ、浴室など閉めきった狭い場所など換気を十分に行えない場所では絶対に使用しないでください。
一酸化炭素中毒や酸欠による死亡事故の原因になります。また、周囲の可燃物に引火して火災のおそれがあります。

禁止

引火物(ガソリン、灯油、ガスなど)が近くにある場所
引火による爆発のおそれがあります。

禁止

乾燥室・温室・動植物の飼育室など特殊な場所
人のいない場所や人があたたまる目的以外での場所では使用しないでください。
植物が枯れたり動物が死亡するおそれがあります。

禁止

燃えやすいもののそば
カーテン、紙類、布類など燃えやすい物や熱に弱いもののそばなどでは使用しないでください。
火災の原因になります。

禁止

直射日光のあたる場所
直射日光や熱気などあたる場所に置かないでください。
過熱により爆発や火災の原因になります。

禁止

水のかかる場所では使用しない
水などの液体が本体の内部に流れ込むと、異常燃焼・故障・やけどの原因になります。

禁止

風のあたる場所や風を吸い込む場所
風により炎が横に流れたり、本体内に吸い込まれたりして本体焼損のおそれがあります。

禁止

落下物の危険がある場所は避ける
棚の下など、落下物のおそれのあるところでは使用しないでください。
落下により火災や機器の故障のおそれがあります。

禁止

出入口やドアの近くに置かない
部屋の出入口やドアの近くに置かないでください。
ぶつかると転倒ややけどのおそれがあります。

禁止

⚠注意

じゅうたんの上など熱に弱いものの上では使用しない
熱に弱い床面(毛足の長いじゅうたん、塗装・漆塗り木質床など)で長時間使用すると変色、ひび割れ・そり返りなどが発生することがあります。
保護のため不燃性の断熱材を敷いて使用してください。

必ず行う

水平でない場所、不安定な場所
傾斜した場所や不安定な物の上に設置して使用しないでください。
転倒し、火災のおそれや転倒時消火装置が正しく作動しないことがあります。

禁止

ほこり・湿気・金属粉の多い場所
不完全燃焼やほこりに引火し火災の原因になります。

禁止

温風の循環を妨げる場所
温風の循環を妨げる障害物などをファンヒーターの前に置かないでください。
異常燃焼や不完全燃焼の原因になります。

禁止

壁に掛けたり、机の上に置かない
壁に掛けたり、机などの上に設置しないでください。
落下して、けがをするおそれがあります。

禁止

気温が5℃以下の所では使用しない
容器(ボンベ)温度が5℃以下になっているとブタンガスが十分に気化せず点火しなかったり、火力が弱くなり、また不完全燃焼の原因となります。

禁止

可燃性ガスの発生する場所
可燃性ガスが発生する場所や、またはたまる場所では使用しないでください。
引火して火災のおそれがあります。

禁止

結露に注意
このファンヒーターは室内燃焼機器のため、機密性の高い部屋などでは壁や天井などが結露する場合がありますので換気してください。

必ず行う

高地使用について
標高1,000m以上の高い場所では使用しないでください。
点火不良や不完全燃焼の原因になります。

禁止

ファンヒーターが囲われる場所
暖炉や押入れなど、ファンヒーターが囲われる場所や本体背面の空気取入口をふさぐような設置はしないでください。
不完全燃焼や故障の原因になります。

禁止

振動の激しい場所
船舶上など設置面自体が揺れたり、使用中にファンヒーターが傾いたり、大きく動く場所では使用しないでください。
炎が大きくなることがあり、やけどや火災の原因になります。

禁止

スプレーや化学薬品を使用する場所
理・美容院、クリーニング店、メッキ・塗装工場などでは使用しないでください。
フロンガスや塩素系溶剤は腐食性ガスの発生により金属が錆びたり、異臭の原因になります。

禁止

樹脂製品に注意
樹脂製品の照明器具の直下で使用しないでください。
照明器具のかさなどが変形・変色することがあります。

注意

各部の名称とはたらき

外観図

前面

天面排気口
点火直後約50秒間ファンが回転するまで熱気を排出します

温風吹出口
点火直後約50秒でファンが回転し、温風が吹出します

点火確認窓
点火・着火や燃焼状態を確認します

取っ手
ファンヒーターを移動させるときに持ちます。移動は消火した状態で行なってください

運転モード切替コック
標準運転モードと弱運転モードの切替を行います

ファン作動確認ランプ(緑)
ファンが作動しているときに点灯します

器具せんつまみ
点火や消火をするときに操作します

背面

容器キャップ

<別売り>

容器(ボンベ)切込み凹部
容器(ボンベ)が誤った角度で装着できないように保護します

容器(ボンベ)
イワタニカセットガス
(使用する容器見本)

この商品には必ずイワタニカセットガスをご使用ください

容器受けガイド凸部
容器(ボンベ)が誤った角度で装着できないように保護します

点 マグネット
容器(ボンベ)を装着した後、容器(ボンベ)を固定して保持します

点 空気取入口
温風排出のための空気を取り込みます

本体銘板
本製品名、型式名、製造年月など書かれています

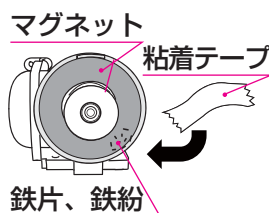
製造年月
型式名

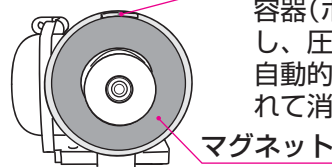
イワタニカセットガスファンヒーター
15.08 － 8348000001
CB-FH-1　ダイニチ工業株式会社
発売元 岩谷産業株式会社

ヒートパネル
低温時でも出力を安定させるため、容器(ボンベ)を適度に温めます

容器カバー
容器(ボンベ)を脱着するときに開閉します

◆容器(ボンベ)装着時にマグネットに付着物がないか確認してください。

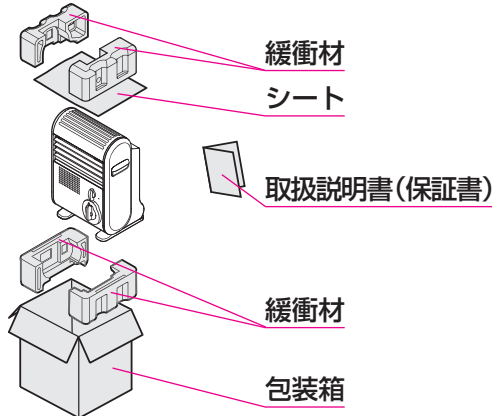
マグネットに鉄片や鉄紛が付着するとガス漏れや容器(ボンベ)がセットできなくなる場合があります。
付着したときは粘着テープを使って取り除いてください。

◆圧力感知安全装置

容器(ボンベ)内の圧力を感知し、圧力が異常上昇した場合自動的に容器(ボンベ)がはずれて消火します。

運転中高温になる部分(ご注意ください)
点 点検・手入れが必要な部分

ご使用前

設置前の準備

機器の取り出し

包装箱から緩衝材などを取り除き、ファンヒーターを取り出す。

⚠注意

○包装箱と緩衝材は保管時に必要となりますので、大切に保管してください。

使用前の確認

使用前に使用場所、および周囲環境が本取扱説明書の１～４ページで使用不可となっている事項に該当していないことを確認してください。

容器(ボンベ)の装着

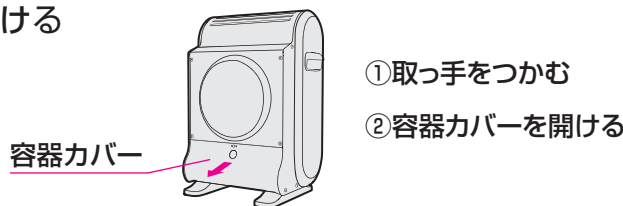
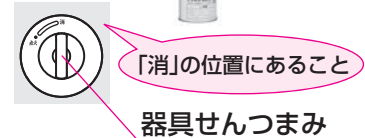
下記の手順に従って容器(ボンベ)の取り付けを行なってください。
誤った手順で取り付けを行うと、予想しない事故が発生するおそれがあります。

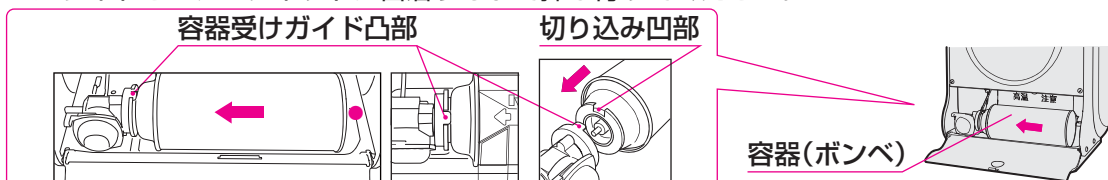
1 中にガスが入っていることを確認した容器(ボンベ)を用意し、容器キャップをはずす

2 器具せんつまみが「消」の位置にあることを必ず確認する

はずす
容器キャップ
「消」の位置にあること
器具せんつまみ

3 取っ手をつかみ、本体が動かないように押さえ、本体背面の容器カバーを開ける

①取っ手をつかむ
②容器カバーを開ける

4 容器(ボンベ)を装着する

○容器(ボンベ)の切込み凹部を本体の容器受けガイド凸部に合わせ、容器(ボンベ)の底を押すようにして水平にスライドさせ、マグネットに密着するまで押し付けてください。

※容器(ボンベ)が正しくセットされているときには、容器(ボンベ)の後ろ側(●位置)に約2.5cmの隙間があります。
※マグネットと容器(ボンベ)の間に隙間がないように確実に取り付けてください。確実に装着しないとガスが漏れて火災の原因になります。
※装着時にガスの漏れる音やガスの臭いがしたときは、装着ミスが考えられます。もう一度装着状態を確認し、ガスの臭いがなくなるまで点火操作は絶対にしないでください。

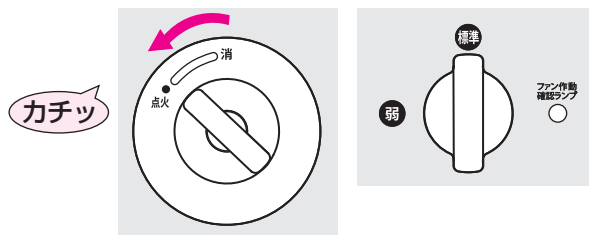
⚠警告

○容器(ボンベ)の底部と、本体の間に物(小石や厚紙など)をはさまないでください。
圧力感知安全装置が働かなくなり、爆発のおそれがあります。

5 容器カバーを閉める

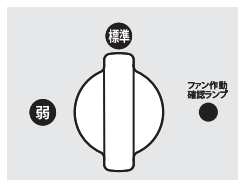
○運転中は容器カバーを開けないでください。

点火するとき

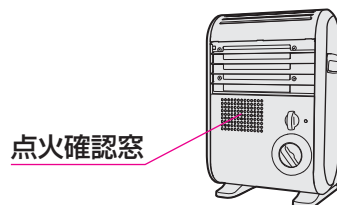
1 運転モード切替コックを標準運転モードに設定し、器具せんつまみを「点火」方向にゆっくりと「カチッ」と音がするまで回す。点火確認窓より点火したことを確認し、**3～5秒間保持**する

燃焼を開始します。

○点火するときに金属の伸縮音「ピキピキ」、「パーン」という音がしますが、異常ではありません。

○点火しない場合は器具せんつまみをすぐに「消」の位置まで戻し、繰り返し点火してください。
※ご使用はじめや容器(ボンベ)の温度が高いときは、一回の操作で点火できない場合があります。
※寒い場所等に保管された容器(ボンベ)を使用したときは、点火後5秒以上保持しなければならない場合があります。
※一回の操作で点火できず、繰り返し点火操作をしたとき、「ボッ」という音がして少し炎が上がる場合があります。点火操作を行うときは安全のために温風吹出口や天面排気口に顔や手を近づけないでください。

2 ファン作動確認ランプ(緑)点灯、ファンの回転を確認する

○標準運転モードのときは運転開始後、約50秒後にファンが回転し始めますので確認してください。
○燃焼開始後、約30秒後にファン作動確認ランプ(緑)が点灯します。
ファン作動確認ランプ(緑)が点灯するまでその場を離れないでください。
※ランプの点灯が確認できなかった場合は本体の故障の可能性がありますので、すぐに器具せんつまみを「消」の位置まで戻して消火操作を行なってください。
※ファンが回転する直前にモータより「キューン」と音がします。また、ファン作動確認ランプ(緑)が一時点滅する場合がありますが異常ではありません。

点火確認窓から炎の状態を確認する

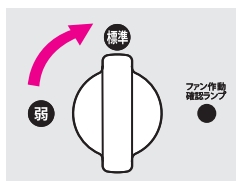
○点火操作後や火力切替後は点火確認窓から燃焼状態を確認してください。
※購入して初めてお使いのときに部分的に炎が赤くなりますが異常ではありません。

メモ

○初めてお使いになるときは、防錆油や耐熱塗料が焼け、煙や臭いが出ることがあります。１時間ほどでおさまりますので、部屋の換気をしながらご使用ください。
オレンジ色の炎が出るときは、異常ではありません。しばらくの間、燃焼を続けているとおさまります。

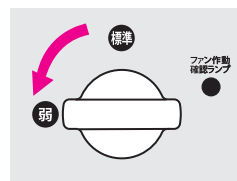
運転モードを切替えるとき

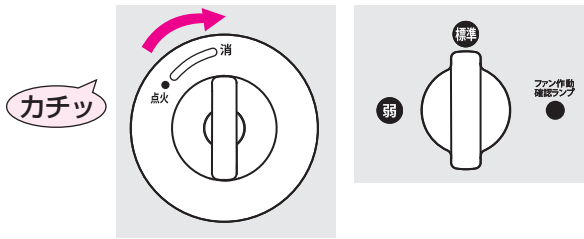
点火後に標準運転モードと弱運転モードで火力の切替を行うことができます。

標準運転モードにするとき

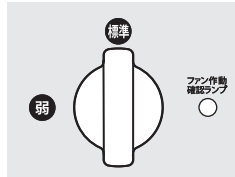
○運転モード切替コックを右に90°回してください。

弱運転モードにするとき

○運転モード切替コックを左に90°回してください。

使用方法

消火するとき

1 器具せんつまみを「消」方向に戻す

燃焼を停止します。

○点火確認窓より必ず火が消えたことを確認してください。
○消火するときに金属の伸縮音「ピキピキ」、「パーン」という音がしますが、異常ではありません。

2 ファン作動確認ランプ（緑）が消灯、ファンの停止を確認する

○燃焼停止後、約60秒間はファンが回転し、ファン作動確認ランプ（緑）が消灯します。

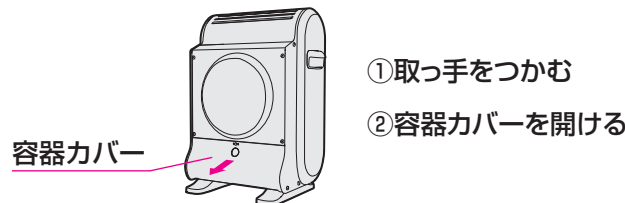
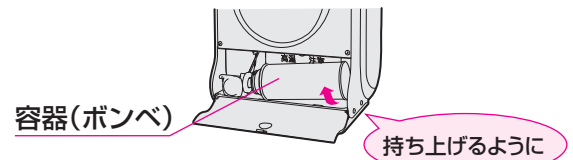
⚠注意

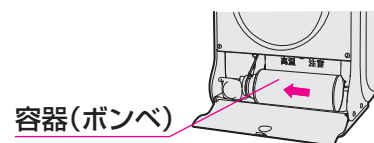
○消火は必ず器具せんつまみで行なってください。
また、燃焼停止後60秒間は、本体内を冷やすためファンが回っていますが異常ではありません。
○消火直後は本体が熱くなっていますので、本体が冷えてから必ず容器（ボンベ）を取りはずしてください。

使用中に燃料切れしたとき

直前まで使用していた本体や燃料が切れた容器（ボンベ）は熱くなっていますので、注意して以下の手順で交換してください。

1 器具せんつまみを「消」方向に戻す

2 取っ手をつかみ、本体が動かないように押さえ、本体背面の容器カバーを開ける

3 容器（ボンベ）の底を持ち上げるようにして取りはずす

4 交換で使用するガスの入った容器（ボンベ）を用意し、容器キャップをはずす
○容器（ボンベ）を取りはずした後も配管に少量のガスが残っています。危険防止のためもう一度点火操作を行なってください。

5 容器（ボンベ）を装着する
（6ページの「容器（ボンベ）の装着」の4参照）

6 容器カバーを閉める

⚠注意

○ガスがなくなり、炎が消える直前に「ボボボ」と燃焼音がするときがありますが異常ではありません。
○容器（ボンベ）の取り付け（装着力）が重いときは容器（ボンベ）の先端に植物油を薄く塗ってください。
○本体内部の部品には触らないでください。やけどや部品の端部などでけがをするおそれがあります。

植物油の塗布箇所

日常の点検・手入れのしかた

日常の点検・手入れは必ず行なってください。

⚠注意

○点検・手入れを行うときは必ず運転を停止させ、容器(ボンベ)を取りはすし、本体が冷えてから行なってください。
　火災ややけどのおそれがあります。
○手、指の保護のため、必ず手袋などを使用してください。
○本体の丸洗いは絶対にしないでください。
　ガス経路に水が入るとガスが出なくなったり錆びの原因となります。
○故障と思われるときは使用を中止し、お買い上げの販売店、または当社お客様相談室にご相談ください。
　お客様自身での分解・修理は絶対にしないでください。
　不完全な修理は危険です。

ご使用のたびに

本体の周辺に可燃物はないか

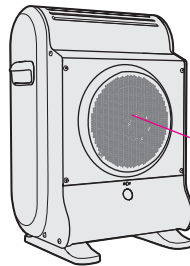
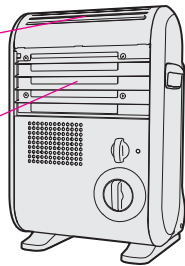
周囲の燃えやすいものを取り除いてください。
火災の原因になります。
周囲は、いつも片付けるようにしてください。

本体のほこりや汚れをふき取る

水でうすめた中性洗剤をしみ込ませた布でふいた後に、柔らかい布でからぶきしてください。
ベンジン・シンナー・磨き粉などは使用しないでください。
色があせたり、表面を傷めるおそれがあります。

週に１回以上は

温風吹出口、空気取入口、天面排気口のほこりを取る

掃除機などでほこりやペットの毛などを取り除き、常にきれいにしておいてください。
異常燃焼の原因になります。

１カ月に１回以上は

転倒時消火装置の点検をする

燃焼中に本体の取っ手を持ってゆすり、消火するか確認してください。
消火しないときは修理が必要ですので、お買い上げの販売店、または当社お客様相談室にご相談ください。

定期点検のすすめ(有料)

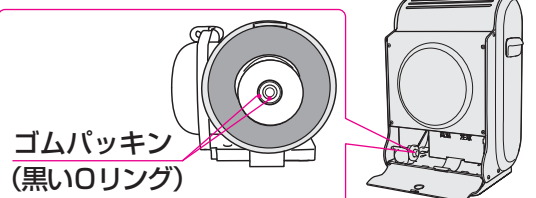
３シーズンに１回の定期点検(有料)をおすすめします

長期間ご使用になりますと機器の点検が必要となります。
点検を受けないと、予想しない事故が発生するおそれがあります。
未然に事故を防止するため、シーズン初めやシーズン終了時にお買い上げの販売店などに点検依頼されることをおすすめします。

製品の経年劣化について

製品は10年を目安に買い替えのご検討を

本製品のカセットボンベ挿入口にガス漏れ防止のためのゴムパッキンが使用されています。
ゴム部品は使用頻度に関わらず年月が経過すると劣化のため、ひび割れしたり、変形したりしてガス漏れの原因になります。
製造後10年を目安に買い替えのご検討をお願いします。

点検・その他

長期間使用しないとき・廃棄のしかた

次の手順に従って本体が十分に冷えてからファンヒーターを保管してください。

1 ファンヒーターから容器(ボンベ)を取りはずす

○容器(ボンベ)には、必ず容器キャップをしてください。

2 本体の汚れをふき取る

○温風吹出口・空気取入口・天面排気口のほこりの付着は必ず取り除いてください。

3 よく乾いているか確認する

4 ファンヒーターの各部が十分に冷えてから包装箱に入れる

○湿気の少ない場所に保管してください。

⚠注意

○ファンヒーターを傾けたり、横倒しの状態では保管しないでください。
○ファンヒーターに容器(ボンベ)を装着した状態のままで保管することは絶対にしないでください。
○ファンヒーターは時々点検して錆びたりしないように手入れを行なってください。

廃棄するとき

○ファンヒーターを廃棄処分するときは、各自治体の指示に従ってください。
○ファンヒーターに容器(ボンベ)を装着したまま廃棄しないでください。
　装着したまま廃棄すると、思わぬ事故になるおそれがあります。

故障・異常の見分けかたと処置のしかた

異常の原因と処置のしかた

何らかの異常で表のような現象が現れたときは、適切な処置を行なってください。

原因 ＼ 現象	点火しにくい	点火しない	燃焼が安定しない	火力が弱い	ガスの臭いがする	使用中に消火した	消火しない	容器(ボンベ)がセットできない	器具せんつまみを「消」にしてもガスが漏れる	温風が温風吹出口から出ない	ファン作動確認ランプ(緑)が点灯しない	処置方法
他社容器(ボンベ)を使用している	○	○			○			○	○			イワタニ専用容器(ボンベ)を使用する
ガスが少なくなっている	○			○								新しい容器(ボンベ)に取り替える
ガスがなくなっている		○				○						
点火操作が適切でない	○	○			○							正しい点火操作をする
ノズルが詰まっている	○	○	○	○		○						点検・修理を依頼する
器具せんつまみの故障	○	○			○		○		○			
圧力感知安全装置が作動した		○				○		○				12ページの処置方法に従って復帰させる
点火装置の故障		○										点検・修理を依頼する
容器(ボンベ)のセット不良		○			○			○	○			容器(ボンベ)の容器ガイドを正しくセットする
マグネットに鉄片、鉄紛が付着								○				粘着テープで鉄片、鉄紛を取り除く
本体が変形している								○				点検・修理を依頼する
周囲温度が低い	○	○	○	○								5℃～25℃の室温で使用する
容器(ボンベ)の温度が低い	○	○	○	○								暖かい場所で保管した容器(ボンベ)と交換する
傾斜した場所に設置している		○	○			○						水平な場所に設置する
転倒時消火装置が作動した						○						12ページの処置方法に従って復帰させる
不完全燃焼防止装置が作動した						○						部屋の換気を十分に行なってから点火操作を行う
温度過昇防止装置が作動した						○						点検・修理を依頼する
弱運転モードで点火操作を行なった	○	○		○								標準モードに切り替えて点火操作を行う
内部部品の故障										○	○	点検・修理を依頼する
温風吹出口や空気取入口が物やほこりでふさがれている										○		温風吹出口や空気取入口の障害物を取り除く

故障・異常の見分けかたと処置のしかた

修理を依頼する前に

次の現象は故障ではありません。修理を依頼される前にもう一度ご確認ください。

現　象	原　因	処 置 方 法
使用中に容器(ボンベ)にガスが残っているのに火が消える	異常な使用のために容器(ボンベ)の温度が高くなって**圧力感知安全装置**が働いている。	下記の「安全装置」についての処置方法に従って復帰させてください。
容器(ボンベ)が装着できないまたは、装着してもすぐにはずれてしまう	容器(ボンベ)の温度が高く、**圧力感知安全装置**が働いている。	
	マグネットに異物が付着している。	５ページに示す手順に従って異物を取り除いてください。
低温時に連続使用していると火力が弱くなる	容器(ボンベ)の温度が低くなっている。	暖かい場所で保管した容器(ボンベ)と交換してください。
消火時にボッという音がする	―	火が消えたときの音で異常ではありません。そのままご使用ください。
購入してから初めて使用すると部分的に炎が赤くなる	―	数回使用すると赤い炎は消えます。そのままご使用ください。
点火後につまみから手を離すと消火してしまう	点火後３～５秒程度つまみを保持していないと火が消えてしまう。	７ページの「点火するとき」の項をお読みください。
点火直後から火力が弱い	容器(ボンベ)の温度が５℃以下になっている。	暖かい場所で保管した容器(ボンベ)と交換してください。
点火後(または消火後)にキューンという音がする	モータの駆動直前、および停止直前の動作音です。	異常ではありません。そのままお使いください。
点火後すぐにファンが回転しない	十分な発電量が得られていないためです。(点火後約50秒後に動き始めます)	
炎が時々ちらちらと赤くなる	空気中のほこりが燃えているためです。	本体に付着しているほこりを除去してください。
ファン作動確認ランプ(緑)が点灯するまで時間がかかる	点灯まで約50秒かかります。(標準運転モード時)	異常ではありません。そのままお使いください。
ファン作動確認ランプ(緑)が消灯するまで時間がかかる	消灯まで約10秒かかります。(標準運転モード時)	
ファン作動確認ランプ(緑)が点灯・消灯時にちらつく	―	

安全装置が作動したときの処置のしかた

安全装置が作動したときは次の処置を行なってください。

使用中に安全装置が作動し、消火したときは、すぐに器具せんつまみを「消」の位置に戻してください。

安 全 装 置	は た ら き	原　因	処 置 方 法
圧力感知安全装置	容器(ボンベ)が過熱され容器内圧力が異常上昇したときに、自動的に容器(ボンベ)がはずれ、ガスの流れが止まり消火します。	容器(ボンベ)が過熱されて温度が上がり、容器内の圧力が異常上昇した。	①器具せんつまみを「消」の位置に戻してください。 ②容器(ボンベ)を取りはずしてください。 ③「安全のために必ずお守りください」をよく読んで、原因を取り除いてください。 ④新しい容器(ボンベ)をセットしてください。(新しい容器(ボンベ)がない場合、はずした容器(ボンベ)を水で冷やしてからセットしてください。冷やさないと再びはずれることもあります) ⑤点火してください。もと通り正常に使えます。
立消え安全装置	風などによって火が消えたときに自動的にガスを遮断します。	強い風が吹いたときなどに起こる。	点検後、風があたらないことを確認して、再点火してください。
不完全燃焼防止装置	不完全燃焼する前にガスを遮断して消火します。	○換気不足などにより、本体周辺の酸素濃度が低下して不完全燃焼を起こした。 ○空気取入口にほこりが詰まっている。	部屋の換気を十分に行い、再点火してください。(使用中は必ず１時間に１～２回換気する)
転倒時消火装置	本体が倒れたり、強い衝撃が加わったときに、自動的にガスを遮断して消火します。	○本体が倒れたり、傾けて設置されている。 ○地震や強い衝撃をうけた。	水平な場所に設置し、安定していることを確認して、再点火してください。
温度過昇防止安全装置	点火しているにもかかわらずファンが回らないときに本体(特に上部)が熱くなり続けることを防止するため自動的にガスを遮断して消火します。	発電モジュール、またはモータの故障です。	修理をご依頼ください。

処置を行なっても直らないとき

故障が考えられますので、お買い上げの販売店、または当社お客様相談室にご相談ください。
故障したまま使用を続けると、予想しない事故が発生するおそれがあります。

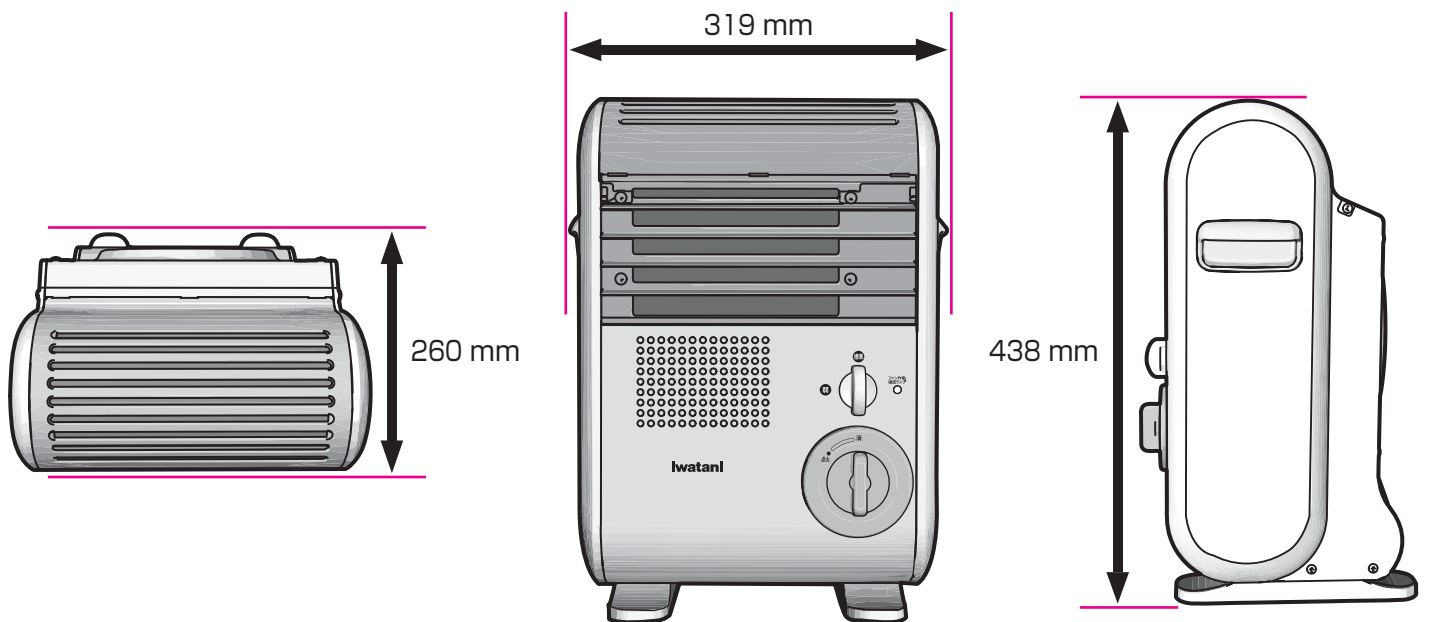
仕　様

仕様表

製品名		カセットガスファンヒーター
型式名		CB-FH-1
種類		強制対流形・開放式
点火方式		圧電点火方式
使用ガス		ブタンガス
使用容器（ボンベ）		イワタニカセットガス
使用可能環境		気温＋5 ℃〜25 ℃の室内
出力（ガス消費量）	標準運転ﾓｰﾄﾞ	2.00 kW（1720 kcal/h 相当 145 g/h）※1
	弱運転ﾓｰﾄﾞ	1.50 kW（1290 kcal/h 相当 109 g/h）※1
連続燃焼時間	標準運転ﾓｰﾄﾞ	約 103 分 ※2
	弱運転ﾓｰﾄﾞ	約 138 分 ※2
暖房のめやす	木造（戸建）	8.3 m^2（5 畳）まで
	ｺﾝｸﾘｰﾄ（集合）	11.5 m^2（7 畳）まで
外形寸法		高さ 438 mm × 幅 319 mm × 奥行 260 mm
質量		約 4.7 kg（容器（ボンベ）は含まず）
安全装置		圧力感知安全装置（容器離脱型）、転倒時消火装置 立消え安全装置、不完全燃焼防止装置、温度過昇防止安全装置
付属品		取扱説明書

※1 気温20〜25℃のとき、30分間のガス消費量を一時換算したもの。
※2 気温20〜25℃のとき、連続燃焼にて容器（ボンベ）1本を使い切るまでの実測値。

外形寸法図

点検・その他

保証とアフターサービス

使用方法・お手入れのしかた・点検・修理のご相談・別売部品の購入などは、お買い上げの販売店、または当社お客様相談室にご相談ください。

保証について

◆保証書(裏表紙に付いています)

○保証書は、必ず「お買い上げ日、製造番号、販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。所定事項の記入がないと無効になりますので、お買い上げの販売店に記入していただくようお申し出ください。

○内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

◆保証期間

保証期間は、お買い上げ日から1年間です。
万一、故障したときは、保証書の記載内容により、保障期間内は無償修理致します。
保証書に記載されている無償修理規程以外の修理は有料となりますので保証書をよくお読みください。

補修用性能部品の保有期間について

○補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
○本ファンヒーターの補修用性能部品は、製造打切り後6年保有しています。

修理を依頼されるときは

○サービスを依頼する前に11ページの「故障・異常の見分けかたと処置のしかた」、12ページの「修理を依頼する前に」の項でもう一度確認してください。

○処置を行なっても直らないときは、ご使用を中止し、お買い上げの販売店、または当社お客様相談室にご相談ください。
アフターサービスをお申し付けのときは、次の事項をお知らせください。

①品　　　　名：カセットガスファンヒーター
②型　　式　　名：本体側面(本体銘板に表示のもの)
③お買い上げ日：保証書に記載
④故 障 の 症 状：できるだけ詳しく
⑤ご住所・ご氏名・お電話番号

⚠注意

○修理などでファンヒーターを移動するときは、火を消して容器(ボンベ)を取りはずしてください。
火災ややけどの原因になります。

◆保証期間中

修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の規定に従って、当社にて修理させていただきます。

◆保証期間が過ぎているとき

修理すれば使用できるときには、ご希望により有料修理させていただきます。

お客様相談室(使用方法・お手入れのしかた・修理のご相談など)

お客様相談室　フリーダイヤル 0120-156269
FAX　：　03-5405-5637

<受付時間>
月曜～金曜　9:00～17:15(祝日、弊社休業日を除く)
※携帯電話、PHSからはつながりません。
※型式名(本体側面に表示)をご確認のうえ、ご連絡ください。

お客様の個人情報のお取り扱いについて

1. 岩谷産業株式会社(以下「弊社」)は、お客様の個人情報をお客様からのご相談への対応や修理及びその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。
2. 次の場合を除き、弊社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
   ①修理やその確認業務を委託する場合
   ②法令の定める規定に基づく場合
3. 個人情報に関するご相談は、お問い合わせいただきました窓口にご相談ください。

保証書

イワタニ カセットガスファンヒーター

型名	CB-FH-1	製造番号	
お客様	お名前　様 ご住所　〒 電話番号　（　　）　－		

お買い上げ日	販売店名・住所・電話番号
年　月　日	
保証期間（お買い上げ日から）	
1年間	

本書は、本書記載内容で無償修理を行うことをお約束するものです。
お買い上げの日から左記期間中故障が発生したときは、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

お客様へお願い
お手数ですが、お名前・ご住所・電話番号をわかりやすくご記入ください。
販売店の記載がないときは、それを証明する領収書などが必要となりますので、一緒に保管してください。

ご販売店様へ
お買い上げ日・製造番号・貴店名・住所・電話番号を必ず記入し（記入のないときは無効になります）、本書をお客様へお渡しください。

Iwatani岩谷産業株式会社

〈無償修理規定〉

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で故障したときは無償修理致します。
2. 保証期間内に故障して無償修理を受けるときは、商品と本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店（修理申出先）に依頼してください。
3. ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できないときは、弊社へご相談ください。
4. 保証期間内でも次のときは、有料修理になります。
   （イ）使用上の誤り、不当な修理・改造による故障や損傷
   （ロ）お買い上げ後の移動・落下などによる本体の故障や損傷
   （ハ）環境や使用状況などによる本体の錆び、変形、変色
   （ニ）火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、および公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）などによる故障や損傷
   （ホ）一般家庭用以外（たとえば、業務用の長時間使用や車両・船舶への搭載など）に使用されたときの故障や損傷
   （ヘ）指定以外の容器（ボンベ）の使用による故障や損傷
   （ト）定期点検の費用
   （チ）本書の提示がないとき
   （リ）本書にお買い上げ日・お客様名・販売店名の記入のないとき、あるいは字句を書き替えられたとき。通信販売などでご購入したときは、商品の送り状・領収書などの提示がないとき。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
6. 本書は再発行致しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
※保証期間経過後の修理などについてご不明のときは、お買い上げの販売店、または弊社にお問い合わせください。
※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは、取扱説明書（14ページ）をご覧ください。

岩谷産業株式会社　カートリッジガス本部

〒105-8458 東京都港区西新橋3-21-8 電話 03（5405）5615
お客様相談室 0120-156269（携帯電話、PHSからはつながりません）
受付：月曜～金曜 9：00～17：15（祝日、弊社休業日を除く）

CB-FH-1・08・00,000・1